

日本モンゴル学会
2025 年度秋季大会案内

仲秋の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。さて、本年度秋季大会
を下記の要領で開催いたします。

記

日 時：2025 年 11 月 29 日(土) 13 時 00 分から 17 時 50 分まで

場 所：大谷大学(本部キャンパス)響流館 3 階メディアホール
(〒603-8143 京都市北区小山上総町)

内 容

総合司会：松川節(大谷大学)

開会挨拶(会長) (13:00-13:10)

第 1 部 基調講演

司会：島村一平(国立民族学博物館)

グレゴリー・デラプラス(フランス高等研究実習院・教授)

Gregory Delaplace (Professor, EPHE, PSL, France)

“Mongolian “culture” and the methods of social anthropology”

(13:10-13:50)

第 2 部 研究発表

司会：村岡倫(龍谷大学)

1. 河上繁樹(大阪学院大学国際学部教授), 松田孝一(大阪国際大学名誉教授),
宇野伸浩(広島修道大学教授)

「チンギス・ハーン博物館所蔵資料「モンゴル宮廷衣装」に関する学際的研究」

(13:50-14:15)

司会：松川節(大谷大学)

2. ウニルサイハン(総合研究大学院大学博士後期課程)

「活性化する施身法：アラシャ・モンゴルにおける仏教実践の考察から」

(14:15-14:40)

3. 島村一平(国立民族学博物館教授)

「生まれ変わりを探すーグリーンケアとしてのモンゴルの転生実践」

(14:40-15:05)

休憩

(15:05-15:20)

司会：尾崎孝宏(鹿児島大学)

4. 廣田千恵子(日本学術振興会特別研究員／北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター)

「馬具・投げ縄の制作と使用にみるカザフ牧畜民の知識とその解釈」

(15:20-15:45)

司会：窪田新一(大正大学)

5. ガンゾリグ・ゾルザヤ, 阪井士紋(立命館大学大学院政策科学研究科博士後期課程)

「日モ関係に見る民主主義の定着とさらなる関係深化のプロセス」

(15:45-16:10)

6. 湊邦生(高知大学地域協働学部教授)

「モンゴル国におけるソーシャル・メディア利用の予備的分析」

(16:10-16:35)

休憩

(16:35-16:50)

司会：橘誠(神戸大学)

7. 牧志朋子(東京大学大学院総合文化研究科博士課程)

「住宅に住んでいても「家がない」—モンゴル都市部における「自分の家」の倫理的的重要性に関する試論」

(16:50-17:15)

8. 八尾廣(東京工芸大学工学部教授)

「モンゴルにおける日本人抑留者の描いた建築図面—国立公文書館所蔵の社会主義時代における建築・都市関連図面の読み取りから」

(17:15-17:40)

閉会の辞(副会長)

(17:40-17:50)

以上

◎懇親会のご案内

時間: 18:00-19:45

料金: 参加費 6,000 円(大学学部生・院生は 4,000 円)

※当日徴収します。釣り銭不要でご用意いただければ幸いです。

会場: 大谷大学学内食堂